

防災、防犯に強く、CO<sub>2</sub>削減に効果ある  
「21世紀の環境照明」

# ソーラー・LED照明灯

## 特徴

### 32W蛍光灯<sup>※1</sup>の防犯灯に 匹敵する明るさを実現

直下照度だけでなく左右前方向への光の広がりポイントを置いたV字型の灯具を設計。また、調光制御により日没から日の出まで点灯し、さらに、フル充電時なら曇りや雨が続くような無日照でも5日間点灯<sup>※2</sup>が可能です。

※1 コンパクト型蛍光灯6本管形。

※2 対応機種はLN-LX1-S、LN-LXS1-S。

### 長寿命設計によりメンテナンスの手間を軽減

太陽電池は平均して20年以上、LEDは約10年<sup>※3</sup>、さらに蓄電池も約5年の長寿命を実現。すぐれた省メンテナンス性を発揮します。

※3 設計目標であり、保証する値ではありません。  
設置場所・設置条件により、異なります。

### 感震センサーを搭載し、 震災時には終夜2日間フル点灯

地震や台風などの災害で万一商用電源が停止しても照明機能を保ち、防犯や避難などに貢献します。さらに、震度5以上の地震が発生した場合には、感震センサーが作動して通常の省エネモードから終夜2日間のフル点灯へ自動切り替えします。

### 20mの設置間隔で 防犯照明の推奨照度クラスA<sup>※4</sup>を達成

シャープが開発した高輝度LEDを集積し、適した配光が得られるモジュールを配置。20m間隔で防犯照明の推奨照度クラスA<sup>※4</sup>を実現しています。

※4 クラスA水平面照度(平均値)5lx以上、道路中心線上の鉛直面照度(最小値)1lx以上、(照度基準は公益社団法人日本防犯設備協会技術標準2012年改正のSES E1901-3(防犯灯の照度基準)によります。)

## 概要

(技術の原理・動作等)

ソーラー・LED照明灯は太陽の光エネルギーを直接電気エネルギーに変換し、内蔵する蓄電池に充電します。周囲が暗くなり太陽電池の出力電圧が低下すると日中に蓄えた電気エネルギーを使って、夜間にLED照明を点灯させます。周囲が明るくなると太陽電池の出力電圧が上昇し照明を自動消灯。従来の照明灯のように商用電源からの電力供給を必要としない自立型照明灯です。



LN-LX1-S

ソーラー・LED照明灯

適用分野  
街路灯、防犯灯

水

省エネ・エネルギー回収

蓄エネ・創エネ  
エネルギー

新エネルギー

廃棄物処理  
再資源・省資源

大気

土壌

その他

シャープ株式会社 電子デバイス事業本部  
BtoB 事業推進センター BtoB 商品推進部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井3-1-72

● TEL / 06-6489-6847 ● FAX / 06-6796-6842 ● E-Mail / sakurai-yasuhiro@sharp.co.jp ● http://www.sharp.co.jp/